

郷土の誇り

長瀬八幡宮見守る会

令和7年 7月25日 No.22

発行者 事務長 太田栄一

達成感にあふれる清掃作業

梅雨がやっと明けた7月20日、日が射すところでは立っただけで汗だくになるほどの暑さの中、清掃ボランティアの皆さんと一緒に神社清掃を行いました。

今回の清掃は、境内の落ち葉の掃き掃除と草取りを中心に行いました。

7月から10月までの清掃は、熱中症を気にしながら木陰を選んでの清掃で、各自水分補給と休憩を取りながらの作業になります。

暑さと戦い汗を拭きながらの清掃作業でしたが、1時間ほど経つと神社の境内は見違えるほどきれいになり、作業した私たちは達成感が湧きとても清々しかったです。

みなさん一緒に気持ちのよい朝を過ごしませんか？

参加お待ちしております。

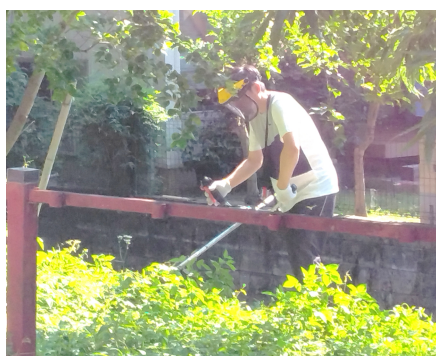


次回は 8月17日（日曜日）8：00～

氏子の皆さん大奮闘

草刈り機の扱いも見事なもの！

5月11日の環境清掃から早くも2カ月余り、この間長瀬八幡宮神殿の外周りは腰の高さまで雑草が生い茂りました。



この雑草を刈り取るべく、6月29日8時より氏子役員及び有志の会総勢10名が神社に集合、虫よけスプレーと焼け止めの対策をして準備完了、早速草刈りに取り掛かりました。

当日は朝から気温が高く、立っただけでも汗が噴き出してくる暑さで、水分補給をしながらまずは境内東側と竹林付近の草刈りを行いました。

腰の高さ以上に伸びた雑草と、四方八方に絡みついたツル草に悪戦苦闘しながらの作業で、フル稼働していた6台の草刈り機は1時間ほど経つとガス欠に・・・

小休止を取り、人と草刈り機のエネルギーを充填したところで第2ラウンド開始、草刈りが順調に進み目処が立ったところで、竹林との境目にある溝への転落防止としてロープを張り、さらにマムシの注意看板を設置しました。

草刈り及び神社整備はとても大変でしたが、みんなと一緒に汗をかきながら作業し、神聖な神社に改めて思いを巡らせると、気持ちの良さや清々しさも感じられました。

今後も定期的な活動を行い、神社がみんなにとって身近な場所になればと感じられた一日でした。

（吉田慎一氏子会会長）



御用！御用！御用だ！

数年前より住民が大切に育てた野菜や果物、弁天池の鯉を食べるなど、大きな被害を出していたハクビシンがついに罠にかかりました。それも2匹 親子かな？

昨今住宅街に出没入して、住民にけが人を出すなどしているクマとは違い、なんとなくかわいい気もしますが、被害は相当数出ていました。

この2匹の捕獲で、今後被害が出ないことが望まれていますけど、どうでしょうか？

罠を今後も仕掛けておかなければならないか確認するため、もし新たな被害が発生したご家庭は、恐れ入りますが必ずご一報ください。

捕獲したアライグマは市役所の環境政策課に引き取ってもらいました。



改修中 拝殿の扉

このところ拝殿がきれいになったと感じられませんか？



それもそのはず、長瀬八幡宮氏子会自慢の整備委員会の皆さんが、拝殿の扉を清掃し、更に風雨から保護するための作業をしてくれています。

作業はいつもながら玄人はだしの出来栄で感服いたします。

整備委員会みなさんは、毎週土曜日8時半からお昼くらいまで活動されていて、6月の酷暑名中でも、道具を木陰に移動し作業されていましたが、真夏に当たる7月半ばから、2か月ほどは休息されとのこと、ゆっくり休んでいただき無理のない環境の中で活動していただきたいと思います。

整備委員会さんは活動するメンバーが高齢化しているため、会員を随時募集されています。

作業内容は多岐に渡るそうですので、どなたも活躍できる場所が必ずあります。

腕に自信のある方はもちろん、素人の方も親切に指導してくださるそうですので、みなさん気兼ねなく応募よろしくお願いします。自宅のDIYにも役立ちますよ！

運び出し片付け完了

神社裏にある杉林の杉を枝払いしたものや、掘り起こした竹の根っこ、更に樹木を剪定した枝が神社西側の森の中に一時保管してありました。

それが大量になり、獣の住み家になったり放火の心配があったことから、氏子役員と有志で片付けを行いました。

6月の毎週土曜日8時からお昼までを目処に、保管してあった枝を軽トラに乗せ1日3回クリーンセンターに運び込みました。

蜂が飛んで来たりムカデの出現に、刺されたり噛まれないよう注意を払いながらの運び出しでしたが、7月19日にやっと片付けが完了しました。



今後も樹木の剪定が予定されているため、片付けを必要な枝が出ます。有志の参加をお待ちしています。